

議会だより

しょうわ

2014.1.22

No. **160**

山梨県昭和町議会
<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>

それなあに？

—どんと焼き まゆ玉作り(清水新居区)—

② **特集** 議会だより創刊40周年記念

④ 議会だよりの歴史を語る

⑩ 一般質問 ここが聞きたい

⑬ 地域住民と議員の対話集会 **井戸端会議**

⑱ **議会改革** 町民参加型政策提案学習会

周年記念

うわの歴史～

平成11年1月発行

表紙がカラーに。定例会報告のみでなく、行政視察等、議会活動報告が載るようになる。

第100号



第141号



第149号



平成20年4月発行

誌名が「議会だより しゅうわ」となり、広報への改革が進む。
昭和町議会の独自性があらわれ、
県町村議会広報コンクールで最優秀賞！
以後3年連続で最優秀賞を受賞する。

平成23年4月発行

記念すべき議会だより！！
全国コンクールで
最優秀賞を受賞！
昭和町議会改革が評価される。

特集

創刊40

～議会だよりしよ

昭和49年5月発行

サイズはB5版。

文字の多い議会だよりだった…。

当時はまだ広報編集委員会はなく

総務常任委員会が担当していた。

創刊号



第45号



第77号



平成5年6月発行

誌名が「私たちのしょうわ町議会」となる。

中身のレイアウトもだいぶすっきりと読みやすくなってきた。

昭和60年6月発行

本格的に広報編集委員会としてスタート。

写真掲載も増えてくる。

この前号（44号）から

今のサイズ（A4版）となる

議会だよりの 歴史を語る

第1回広報発行に向けて



第1号担当編集委員

牧野 方宏
まきの まさひろ

議会だよりの発行40周年おめでとうございます。

昭和46年から昭和62年までの議員生活16年でしたが、28年経過し時代の流れの速さに驚いています。

第1回議会だよりの発行では、広報委員会の構成もなく、議長・総務常任委員会(5人)・教育厚生・産業土木常任委員会の各委員長(2人)・役場総務課係長・議会事務局局長(兼務)で発行に向けての準備に入り、広報予算やページ数・校正など問題が山積する中で、昭和49年5月に第1号を発行することができました。

当時の昭和町は交付団体で財政的に厳しい時代でしたが、企業誘致を進め、国母工業団地や釜無工業団地を造成し、財政も豊かになりました。

強く記憶に残るのは、昭和26年から清水新居区の児童の委託問題で、毎年、町に請願・陳情を続けてきたことです。

これからも「議会だよりの」が多くの町民に愛され、読んでいただけるようお願い、お祝いの言葉と致します。

イノベーション(革新)



第134号～149号

発行責任者
浅川 武男
あさかわ たけお

平成の大合併も約10年の歳月が流れ、山梨日日新聞紙上でも連載が組まれ、合併後の市・町の問題点が指摘されています。

昭和町も平成14年から田富・玉穂3町での合併が協議され、議会では合併推進が過半数で、平成16年7月の町民意向調査の結果、合併反対が過半数を占め、合併はしないとの結論になりました。この時の議会と民意の乖離が議会改革の原点となりました。

平成19年の議会議員選挙は16名中9名が新人という結果で、新議会発足に際し「町民とともに歩む議会」を目指し、学ぶ議会・行動する議会・改革変革する議会を3つの公約として議

長に就任しました。

山梨学院大学ローカルガバナンス学会と提携、大学と議会との提携は珍しい事例として雑誌に掲載され、発奮材料となりました。井戸端会議の定期的な開催や町民に読まれる議会だよりのづくりに取り組み、専門の先生の指導を受けたりしながら、遂に念願の全国町村議会広報最優秀賞を獲得しました(議会だよりのしょうわ149号)。

ともに苦労した副議長ほか議員の皆さん、事務局長・局員の協力なくしてできるものではなく、心から感謝申し上げます。昭和町議会のさらなる充実と町の発展をお祈り申し上げます。

多事争論

平成25年11月13日（水）、住民の先頭に立って活躍されている区長さんと意見交換会を開催しました。区長の皆さまからいただいたご意見をしっかり受け止め、議会活動に反映させていきたいと思います。（一部のみ掲載）

参加者

（敬称略）

西条一区 田中憲治
西条二区 上杉恒雄
清水新居 保坂哲彌（副会長）
西条新田 小松五郎
押越 雨宮敏明
河東中島 保坂武彦

紙漣阿原 武井啓吉（会長）
築地新居 坂本久
飯喰 小澤和明
河西 秋山正巳（副会長）
上河東 杉原喜彦
上河東二区 石川重明

以上12区長・ほか町議会議員

テーマ1
消防団への
入団促進を

区長会

▼団員確保が年々厳しい。少子高齢化などの社会環境の変化、また地域社会の変容に対応しながら関係者一体となつて取り組む必要があると思うが。

議会

▼装備品を充実させ、訓練等における研修や支援をしていく。

▼何のための団活動なのか理解が必要。団員ばかりでなく、隣近所、町民も協力できるような体制づくりが大事。

テーマ2
税収をどのように
上げるか

区長会

▼年々予算が増加する中で、企業の撤退等で税収が落ち込むことが予想される。今後どのように考えるか。

議会

町税収の内訳一覧表を提示しながら説明

▼景気回復を願うとともに、企業に対する優遇措置を検討し、定期的な意見交換会を開催するよう、町に働きかけていく。

新年あけまして

おめでとうございます

昭和町議会議長 萩原 馨

町民の皆様には、夢と希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本議会も議会改革の一環として始めた山梨学院大学との提携も7年目を迎えました。昨年の学生とのワークショップでは初めての試みとして、「町民参加型政策提案学習会」と形を変えて行いました。町の組織13団体の代表や議会モニター、議会議員とで学生の若い政策提案を聞き、意見交換をする中で、「町民と共に歩む議会」に挑戦できたことは町民の皆様の議会に対する暖かいご理解とご協力の賜と感謝いたします。

本町では63・4%の大規模な区画整理事業が平成27年に完成し、甲府盆地の中心としての機能を持った町として生まれ変わります。また将来の町

昭和町議会議員

深澤 平助
河田 あけみ
長谷川 幸廣
三井 猛
遠藤 辰男
田中 博愛
塚原 将司
樋口 敏夫
福島 正明
河住 保茂
野中 敏美
深澤 克男
林 和仁
石原 高明
中澤 康夫

支援強化！

27年度スタート！！

12月議会で
決まったこと

町子ども・子育てをめぐる現状は？



子ども・子育て会議

町の出生数、また世帯当たりの子どもの人数は減少傾向にある。しかし保育所の園児数の増加、その背景にある女性の就業状況など、さまざまな課題を前に支援事業が効率的に提供されるよう、体制確保に務めます。

平成25年12月定例会は、12月10日から13日まで4日間の会期で開きました。町長提出の平成25年度一般会計および特別会計補正予算3案件のほか、公平委員選任1件、条例改正7件の計11案件を審議しました。一般質問では6人の議員が、10件について活発な質問・意見を展開しました。

一般会計 全員賛成で可決

- 補正増額 2530万円
- 予算総額 75億4433万円

おもな補正財源

- ・国県支出金の障害者自立支援給付費等補助金 4320万円

おもな使いみち

- ・障害者自立支援給付費 3000万円
- ・子ども子育て支援システム構築委託料 813万円
- ・財政調整基金への積立 1766万円

特別会計 全員賛成で可決

- ・介護サービス特別会計 5万5千円減額補正 総額 1464万円
- ・下水道事業特別会計 5,639万7千円減額補正 総額 10億1293万円

(単位:千円以下切捨て)

新体制で子育て

平成26年度策定!

条例改正

- ▼情報公開条例改正
昭和町個人情報保護条例の法令番号等を変更するもの。
- ▼税条例改正
軽自動車税の納期限を4月末から5月末に変更するもの。
- ▼使用料徴収条例改正
・押原公園スポーツ施設のロッカールーム、交流ルームを会議室とし、使用できるものとするもの。また冷暖房使用の規定も追記するもの。
- ・各公共施設（体育施設）の運営状況見直しによる使用料を改正するもの。
- ▼地下水採取の適正化に関する条例改正
規定による許可決定を受けた者に加え、10立方メートル未満の届け出を出した者に対しても、工事完成届の提出を義務付けるもの。また吐出口について口径サイズを追記するもの。

▼後期高齢者医療に関する条例改正及び介護保険条例改正
保険料延滞金額に対し、10円未満切り捨てのものが100円未満を切り捨てることに変更されるもの。また特例基準割合の変更に伴う延滞金割合を改正するもの。（平成26年1月1日より施行）

全員賛成で可決

人事

▼公平委員会委員の選任



やま もと さとし
山本 哲 氏
河東中島2039番地

全員賛成で同意

請 願

▼新聞への消費税の軽減税率適用を求める意見書の採択を求める請願

「要旨」

消費税増税にあたり、複
数税率の導入と新聞への軽
減税率適用を実現すること

・紹介議員 中澤 康夫

・意見書提出機関

衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、財務大臣

賛成多数で採択

（反対〃深澤平助議員）

意見書

▼要支援者への保険給付の継続を求める意見書（案）

・提出議員 深澤 平助

・意見書提出機関

衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、厚生労働大臣

全員賛成で可決



水源対策特別委員会

地下水水位測定地を増やせないか

田中議員 現在の地下水水位測定4地点以外に身延線南側、また国母工業団地内も測れるようにしてはどうか。

環境経済課長 新年度に向け、検討したい。福島議員 井戸設置届出書の中で「周辺井戸の採水に支障があった場合の措置」の欄に記載がない。また工事着工年月日にも記載がないが。

環境経済課長 措置については条例に基づき明記する。各年月日等も記載する。



審議のようす

地方分権対策特別委員会

協働政策評価の検討項目について意見交換

。団体補助金の見直しについて
(主に文化協会運営補助金)

文化協会活動の充実は

深澤(平)議員 補助金の減額というよりも、文化協会活動をより充実させるほうに視点を変えてはどうか。

生涯学習課長 活動が衰退することのないよう、公民館とタイアップしながら教室等を開催し、会員確保に努め、活性化させていく。

塚原議員 1人当たり補助金単価が他市に比べて高いが。

総務課長 協会野外研修費や部長研修費を見直す中で、段階的にバランスをとっていききたい。

福島議員 単に減額すべきとは言わない。活動の成果が表れていれば良いが、費用対効果を考え、各補助金の見直しの時期がきている。住民に理解を求めて説明もしていくべきだ。

再生可能エネルギー等導入推進基金事業について意見交換

太陽光発電設備を総合会館に?!

河住議員 設備導入に総合会館が候補となっているが、バッテリーは1階と2階に必要か。どのくらい維持できるのか。

今福主事 1階に1台設置予定。稼働予想は約5時間。

福島議員 見積もりを徴した中で検討しているようだが、提案する根拠等を明確にしてほしい。

総務課長 総合会館に非常用電源がないことを解消し、災害時に対応できる機能を持たせる意味でこの事業を取り入れたい。予想される町単独費はできる限り抑えられるよう、検討を重ね活用していきたい。

教育厚生常任委員会

児童館の条例整備を

三井議員 児童センター（ゆめてらす）を町外在住者が利用しているが、子どもたちの補償問題にもつながりかねないと思うが、利用規則や条例整備等を考えないか。

福祉課長 児童センターは子どもが誰でも利用できる開かれたもので、留守家庭児童学級も含む複合的な施設。町内外問わず、互いに支障がなければ利用できると思う。施設の適用の可否や他市の条例等を確認し、今後の検討課題としたい。深澤（平）議員 障害者福祉制度改正システム導入委託費増で、追加対象となった難病者は何人か。

福祉課長 現在85人。

保健センターの非常電源は

河住議員 災害時使用の発電機購入を予算計上しているが、維持管理はこの課がするのか。またどのようなものか。いきいき健康課長 当課で管理。ソーラーパネル式のもの、家庭用カセットボンベによる簡易的な小型発電機。

産業土木常任委員会

押原公園管理棟会議室の周知を

河住議員 押原公園管理棟の会議室が増えたが周知は。

河田議員 使用料は町内外者問わず一律か。

都市整備課長 管理棟の窓口で案内。また町の広報に掲載する予定。料金は一律。



押原公園管理棟

新設道路の進捗は

福島議員 歳入の国庫補助金は事業全体の遅れを防ぐために事前に県と情報共有し、なるべく早めに単年度の金額確定を進めてもらいたい。

建設課長 補助金額全体は変わらないが、各年度の補助金額確定の具合で工事の進みは左右されてしまう。

総務常任委員会

職員定数増の内訳は

河田議員 今後5年間の計画の中で、現職員定数106名を109名とするとあるが、増となる栄養管理士、社会福祉士、保育士の3名分と考えて良いのか。

深澤（平）議員 職員増は賛成だが、非正規職員の待遇改善も今後の検討課題としてほしい。

総務課長 定数106名に対し現職員は100名。定数109名にした時の9名の中に3名が含まれる。まだ具体的内容はない。

三井議員 退職後の再任用に伴い、今勤務している非正規職員の雇用継続等に影響が出てくるのでは。

副町長 具体策はまだないが、まずは現状の課題を解消していく中で、非正規職員が多い部署の管理体制を見直す。また他市の情報も得ながら条例改正も視野に入れ、町としての体制を整えていきたい。

ここが聞きたい

本会議の議事録はホームページで公開しています。議会事務局でも閲覧できます。

一般質問

Q 市街化調整区域・地区整備計画は

整備計画は

A 専門職員育成し

町独自に制度検討



たなか ひろよし
田中 博愛 議員

て面的整備は素晴らしい環境にある。常永地区区画整理事業もイオンモールを核として、人口2万人も遠いことではなく、甲府都市計画区域の核となつた町になる。

市街化調整区域の地区整備計画スケジュールについて、今後の具体的な状況を伺う。

町長

昨年9月議会定例会答弁をしたとおり、市街化調整区域内の開発許可制度の運用を町で施行するためには、開発許可権限を県から町へ移譲を受けなければならない。開発審査には専門知識が必要で、そのため特例市であり、事務処理市町村と同等の開発許可

事務を行っている甲府市との人事交流により、開発審査の専門職員の派遣を平成26年4月から予定しており、その職員の指導により専門職員の育成を図っていきたい。

また、地区整備計画等については、町独自の開発許可制度を検討し、1日も早い施行に向けて取り組んでいきたい。



地区整備計画の実現に向けて

施策を問う

一般質問



いしはら たかあき
石原 高明 議員

Q 非常備消防の装備充実は

A 充実強化を図りたい



消防団訓練時

石原

常備消防は広域行政によって運営されているが、災害時の活動体制は広域的である。非常時に身近な町民を守る消防団活動に町は十分な支援をすべきで、倒壊家屋から人命救助に必要なチェーンソーやジャッキなど、消防団12団に配備すべきだが、町の考えは。

町長

防災直後の人命救助は一刻を争い、自主防災組織や地域の消防団の活動が非常に重要である。災害時には資機材を安全に使用できるように、平時での取り扱い訓練も必要で、消防団員の意見を聞きながら実施したい。町民に「自助」「共助」の大切さを周知し、また、消防団や自主防災組織では、資機材の整備や訓練を重ね、町民の生命と財産を守るため、組織の充実強化を図っていきたい。

Q 災害時要援護者の対応は

A 平時から連携を強化する

石原

町作成の要援護者名簿は、想定していた要援護者数と比較して十分か、充実させる方針は。また、名簿を消防本部に提供する考えは。

町長

現在、災害時に自力で避難できない高齢者など580人余が登録されている。常に対象者の把握に

Q 高齢者世帯に火災報知器設置を

A 助成対象未設置世帯に考慮する

石原

要綱改正により補助申請が激減している。早急に制度を見直し、該当世帯調査と全世帯に対する補助分の予算を計上すべきだが、町の考えは。

町長

これまで町が助成をし、282件の高齢者世帯が設置済みだが、助成対象世帯が884世帯で、現在までの設置数は助成制度未活用世帯を含め、583世帯、設置率66%となっている。平成26年度予算措置は、要綱の見直し等を含め助成対象未設置世帯数を考慮して計上したい。

Q 国道20号アピオ交差点に地下通学路を

A 実情を検証し 国・県に要望



はやし かずひと
林 和仁 議員

林 国道20号線「甲府昭和高校入口交差点」

は終日交通量が多く、平成22年には人身事故件数が県内で最も多い交差点のワースト1で、清水新居地区からの通学路で緊急合同点検時の危険箇所ではないが、どのような調査をしたのか。



甲府昭和高校入口交差点

平成25年度は43人の委託児童・生徒がいるが、年々減少し、これからは西条小・押中に通学することが考えられる。
登校時にはボランティアの男性と、保護者が子どもたち

を誘導しているが、柵やガードレールもなく大変危険だ。この交差点では、歩行者専用の地下通学路を新設することが、もっとも安全な対策と考えるが、当局の考えは。

町長

地下道は、地上の歩道橋と比較し建設に多額の費用がかかり、地下にあるため常時灯火の必要があり、換気や防犯の点でも留意が必要だ。

甲府昭和高校入口交差点が通学路の危険箇所指定されなかった理由として、待ち時間表示付（経過時間表示機能付）歩行者信号機が設置されており、学校やPTAからも危険箇所としての報告はなかったと教育委員会から聞いている。

参考までに、歩行者の安全対策としてイトーヨーカドー北側、町道「甲府昭和高校東交差点」は、押しボタンの歩車分離式信号機が設置され、すべての方向の信号を赤にして車両を停止させ、すべての歩行者信号を青にして横断させる方式になっている。

歩行者専用の地下通路は、立体横断施設や歩車分離式信号機の設置等、どの方式が実情に合っているのか検証し、国・県に強く要望していきたい。

Q 随意契約の見直しは A 透明性確保し契約



かわすみ やすしげ
河住 保茂 議員

河住 随意契約とは、国や自治体が公共事業を発注する際、競争入札を行わず任意の業者と契約を結ぶことをいうが、効率や透明さの面で難点がある。本町の随意契約はどのようにしているのか。

町長 地方公共団体が競争性・透明性・経済性等に優れた一般競争入札を原則としているが、地域性や地域の実績、中小企業の受注機会確保のため、指名競争入札、随意契約が認められている。随意契約は事務の効率化に寄与し、信用・能力のある業者

を容易に選定できる反面、透明性や不適正な価格によって行われることがあるが、地方自治法に定められた規定に基づき契約を実施している。

総務課長

随意契約ができるものは、

契約の種類に応じ契約金額の上限が定められており、これに該当するものは、2社以上から見積もりを徴し安価である者と契約している。契約の際には、随意契約の短所・長所を理解した上で、契約案件を担当課で精査し、契約担当である総務課と合議を行い、執行理由ならびに業者を厳選し、適正かつ透明性を確保し、慎重に契約を行っている。

Q 子誉め条例制定を

A ほめることを積極的に進める

河住

昔から子どもは叱るより、褒めて育てるといわれるが、困っている人を助けたり、スポーツ大会で優秀な成績を収めた時など、

褒めてあげる「子誉め条例」を制定したらどうか。地域ぐるみで子どもを見つめなおすことを通し、大人同士の連携を深める狙いもある。早急に実現すべきだが、町の考えは、

町長

他県ではいくつかの自治体で条例制定している。いずれも小中学生を対象に、家庭・学校・地域ぐるみで子どもを育てる環境の整備を趣旨としているが、条

例に基づく行政措置ではなく、もっと大人たちが日頃からさりげなくほめることが重要だと考える。

現時点での条例化は考えていないが、いろいろな団体の表彰部門の拡大のほか、教育委員会や青少年育成町民会議などを通して、「ほめる」ことを日常生活の中で積極的に進める取り組みも考えていきたい。



小中学生によるごみ拾い

Q 介護保険・要支援 サービス事業継続を

A サービス低下に ならぬよう努力



ふかさわ へいすけ 深澤 平助 議員

深澤

新聞報道では、厚生労働省は11月14日の

社会保障審議会・介護保険部会で、要支援者への保険サービス若干手直ししたものの、訪問介護と通所介護については市町村の事業にゆだねる方針は変わらない、とのことだ。特別の事態に変化がない限り、

この方針が来年の通常国会にかけられ、平成29年度から実施されるものと考えられる。

要支援の人を対象とした介護予防事業は極めて重要な事業で、町では予防事業として14項目の内容で行っているが、内容をみると訪問介護・通所介護事業で80%以上を占めている。この事業が町にゆだねられた場合、町はどうするか。方針を明らかにする必要があるが、いかがか。

町長

国は介護の必要度の低い「要支援1・2」

の人向けのサービス（予防給付）のうち、訪問介護とデイサービス（通所介護）だけを、29年度末にかけて市町村事業に移す新たな案を示した。新たな案は市町村が行う事業とし、訪問介護やデイサービスとともに配食や見守りなどの生活支援を想定し、利用者は既存の事業者のほか、NPOやボランティアによるサービスも選べる。内容や価格は市町村が決めるが、国がガイドラインや有効な事例を示し、

支援するとなっている。

これら制度改正の方向性は、市町村の役割が重いものとなり、性急な実施には確実に機能するシステムが構築できるかなど、不安と懸念がある。本町の実情を精査し、合わせて住民主体の取り組み等を積極的に活用し、柔軟かつ効果的にサービスを提供できるように、受け皿を確保しながら、段階的に新たな事業に移行し、サービスの低下にならないよう努めていきたいと考えている。

再質問

深澤

本町でNPO法人やボランティアで予防

事業ができるか疑問だ。また国の言う「介護と医療の連携」ということに期待をかけているようだが、特別養護老人ホームの入所条件も要介護3以上になれば介護も医療も後退することは明らかではないか。

いきいき健康課長

新しく 制度改

正になれば地域支援事業でのサービスは拡大するため、充実したものになる。



どうなる介護予防事業!?

Q 空き家実態と今後の課題は

A 実態を把握し方向性を検討

一般質問



かわた 河田あけみ 議員

河田

全国では急激に進む
少子高齢化に伴い、

空家が増加している。本町でも将来的には避けられない問題と思うが。

空き家となっている戸数はどれくらいか。

近隣から空家の苦情等はないか。

今後、空き家対策のため条例等を制定する考えは。

子育て支援広場や高齢者の居場所づくりに活用する考えは。

町長

町では全体的な
空き家に関する実態

調査は行っていないが、通行上や防犯上の問題があるものは、自治会などを通して相談があり、その事案によって個々に行っている。

人口動態も含め、他自治体の傾向と異なる状況であり、現在のところ制定する予定はないが、住宅・土地統計調査の結果概要や、町の人口動態現に発生した事案等を勘案し、条例制定が必要かどうか、空き家の実態把握と併せて方向性を検討していきたい。

地域ケア会議等において地域に密着したコミュニケーション



多くの参加者でにぎわう

Q 「エコしゅうわ」の盛り上がりは

A 内容検討し改善する

河田

毎年4月29日、昭和の日に、押原公園で行っている「エコしゅうわ」は緑化推進と環境保全を町民にアピールするためのイベントである。今年で3回目だが、エコしゅうわに毎年どのくらいの参加者があったか。

今後、盛り上げるための課題と企画は。

ゆるキャラなどを作る考えは。

町長

新しいイベントなので、今後も内容を検討し改善しながら、より良いイベントを目指していきたい。

環境経済課長

3回目
の今年

度は、多くの民間事業所や団体に協力いただき、500人程度の参加者があった。

全戸にチラシを配布し、集客力のある催しとしたい。主な対象者が小学生の子どもと保護者なので、その世代が楽しめる催しも考える。

ゆるキャラではないが、役場職員が作成し、広報しゅうわに掲載されていた「昭和のいちごさん」一家をチラシやポスターに活用している。いちごは町の特産品であり、地産地消の推進という環境保全の啓発が図られ、イベントの趣旨に合致しているキャラクタと判断した経緯がある。

地域住民と議員の対話集会



井戸端会議

(紙面の都合上、一部意見要旨のみ掲載)

今後の井戸端会議の予定

日程	区	委員会
2/15(土)	河西区	総務
2/21(金)	西条一区	教育厚生

河東中島区(第6回)

10月18日 区公会堂

- 出席者 区民29名
- 参加議員 教育厚生常任委員会
長谷川幸廣 田中博愛
深澤平助 樋口敏夫
萩原 馨議長

- 地元議員 遠藤辰男 中澤康夫

おもな意見・要望と議会の対応

Q 押中校庭の砂は、風が吹くと近隣に飛散する。また、ネットを越えて飛んでくるテニスボールがたくさんあるが、対策はないか。

A 学校で必要に応じスプリンクラーによる散水や、冬季には塩カルの散布も行い、テニスボールの回収の徹底を図るよう、学校に注意喚起した。ネットのかさ上げは今のところ検討していない。

Q 申し込みをした町内の老人施設から3年待ちと言われた。町として老人介護施設を設置することはできないのか。

A 特養老人ホームを町単独で設置することは難しい。施設入所に對する困難を軽減していけるよう、議会として積極的に町へ進言していきたい。



テニスボールの対策は

清水新居区(第7回)

10月29日 区公民館

- 出席者 区民28名
- 参加議員 産業土木常任委員会
遠藤辰男 河住保茂
三井 猛 福島正明
中澤康夫

- 地元議員 林 和仁

おもな意見・要望と議会の対応

Q 土木委員より町へ要望した道路拡張に伴う停止線や、路面表示を早く実施してもらいたい。

A 当局ではすでに現地調査を済ませ、26年度には実施する方向で検討している。

Q いまだに残る甲府への委託児童について、区的全児童が昭和町の学校へ通えるようになるのはいつなのか。具体的に解決のめどを示してほしい。

A 町は就学前の子どもを持つ保護者に、西条小学校への入学が基本であると通知している。委託廃止は区での意見集約と合意形成が整った上で、甲府市とも協議を行い決められていくと思う。今のところ廃止時期の設定はない。

Q 粗大ごみの一括収集を始めて

みて、以前との変わりはどうか。また月1回の収集日に合わないこともあるが、収集回数を増やしてもらえないか。

A 収集時に身分証明の確認を行っているため、捨て主不明のゴミがなくなり、各地区への不法投棄も減っている。月1回以外にも平日、また第2日曜日に(株)河西金属商事釜無工場へ持ち込みができるので、現状通りの収集回数で運用していきたい。



収集回数を増やせないか!

西条新田区(第8回)

11月28日 区公会堂

●出席者 区民32名
●参加議員 産業土木常任委員会
遠藤辰男 河住保茂
三井 猛 福島正明
中澤康夫
萩原 馨議長

おもな意見・要望と議会の対応

Q 2027年リニア中央新幹線開通により、町でも道路整備が必要ではないか。

A 都市計画マスタープランの、全体構想の長期的計画の中では、イオン付近、南北線を常永駅までつなげること、西条二区旧満月から国母駅までつなげることが上げられている。また将来的には、新山梨環状道路につながる道路整備計画がある。

Q 浄化槽の維持管理について教えてほしい。

A 浄化槽管理者(所有者等)は、浄化槽の保守点検や清掃が適正に行われているか、機能が発揮されているかを確認するため、年1回の法定検査を受けなければならない。

Q 現在の下水道普及率はどのく



下水道普及率の向上策は!

マンホールの蓋のデザイン

らいか。また普及率をアップさせるために対策はしているのか。

A 現在93%。未接続世帯への戸別訪問により、環境面における下水道接続の義務について理解してもらつなど、啓発を行っている。また経済的な理由での未接続者に対しては、貯蓄等の計画を立てていただき接続をするよう指導している。

飯喰区(第9回)

11月29日 集落センター

●出席者 区民12名
●参加議員 総務常任委員会
塚原将司 野中敏美
河田あけみ 林 和仁
石原高明
萩原 馨議長

おもな意見・要望と議会の対応

Q 震災が起きた際、町の被害を想定した対策を議会としてどのように捉えているか。

A 液状化や氾濫が見込まれ、建物の崩壊が危惧される。消防団員も訓練を行っているが、救助の際に必要な備品について、チェンソー・ジャッキ等の装備を当局に求めていく。

また、災害時行動マニュアルにそつて防災訓練を行い、想定される危険箇所等の現場視察を行っている。

Q 新住民との交流がなかなか取れない状況だが、議会としての考えで、何か参考になることがあれば教えてほしい。

A 区の規約等を作り、理解を求めていく必要があると思う。また、スポーツを通じた交流会なども良

い機会になるのでは。

Q 町の継続的発展と繁栄を考えると、単独町政を進めていくのであれば企業収益ばかりに頼らず、町の特産物や杉浦医院や義清神社等、歴史的資産に集客を計画してはどうか。

A 現在は残念ながら特産物と言えるものがないが、農家の後継者育成を進め、法人化を推進することもある。また、大学との提携の中で学生から提案されることも、今後のまちづくりの材料にしていきたい。

町に特産物を!



提案！会場に響く

提案学習会

平成25年11月24日

目的

山梨学院大学との提携から6年。これまで大学でワークショップを行ってきたが、今年度は活気ある町、住みよい町を築くため、また大学と議会がどのように活動を行っているかを知っていただくためにも学生からの政策提案に対し、町民の皆様と議員とで意見交換会を開き、町の未来を語る。

* 総務常任委員会 *

テーマ

男女共同参画における女性の活躍

昭和町における景観政策の課題

若い世代への市民教育

提案

男女間の労働状況の中で雇用形態や賃金等に格差がある。女性が活躍することで経済的な効果が出た事例もあるが、男女平等な体制を作れないか。



意見

町では昨年「男女共同参画推進基本条例」を定めた。各役員へ女性登用の目標値を出しているが達成はしていない。女性の活躍の場を増やしていくよう、行政へ提言していく。

* 教育厚生常任委員会 *

テーマ

みんなが主役になれるふれあいサロン

子どもの心のケアと市町村

市町村教育委員会の活性化について

提案

サロンに関わる全ての方が互いに必要だと思える場に。日帰りツアーなどの各行事、スタッフ同士の交流会や未来の担い手育成など、活動の充実を図ってみては。



意見

「楽しくなければサロンでない」ことを基本に活動している。専従者の配置は大変良いことだと思った。サロン活動の活性化にとって大変いい提案をいただいた。

意見

町のふれあいサロンは活発化していて参加者も多いようだが、マンネリ化しないよう、専門のアドバイザーを配置し参加者一人ひとりが主役となるサロンを目指していきたいと思う。

* 産業土木常任委員会 *

テーマ

■ 震災危険地区に対する対策について

- 交通量の増加に備えた環境対策
- 昭和町に眠る資源を発掘する



意見

消防団では万が一に備え、日々訓練に取り組んでいる。また狭い道路、住宅密集地でも救済できるよう、小型車両にはポンプや消防機具が積まれており、対策を整えている。日頃から防災・減災意識を高めていただくことも必要だ。

提案

既存集落地内に入ると狭い幅の道路が多く、火災時には消防車両の進入が困難。またブロック塀が多く、災害時は崩壊等の危険が伴う。対策が必要では。



意見

提案としては評価できる部分もあるが、案を実現するためには莫大な財源等が必要なものもあり、検討協議を十分に行い取り組んでいく必要がある。

講演

江藤教授

【昭和町の将来について】講演をいただきました。昔を振り返りながら、昭和町の歴史、また将来像などを語っていただきました。



講評

今村教授

ゼミごとに持ち味があったが、レジュメの朗読ではプレゼンテーションにならない。学生にはプレゼン能力を養う努力をお願いしたい。今まで専門文献を読んだり、互いに話し合いをした中でここまでの発表にたどり着けたことは大変立派である。

【町民参加型...】という点に最大のねらいを定めたことに注目したい。議員のみでなく関係諸団体とも意見交換ができたことは、まさに政策提案という面で学生にとっても有り難いことであった。

今後は具体性を持った提案が望ましい。議員方も行政側の代弁では政策提案の意味が半減する。提案を受けた形でどういうしくみで活かされるのか、議員としての発言に配慮をお願いしたい。成功だったと評価する。



町民参加型政策提案学習会

提案がそれぞれ素晴らしい！いろいろと参考に考えさせられた。

大変意義ある学習会だった！

もうすこし討議の場があっても良いのでは。

限られた時間で各種団体と活発に意見を交わすためには、事前に山学大で審査を行い、優秀な3テーマなどに絞り込み意見交換会を開いてはどうか？

非常に面白かったが、時間が限られているためせわしかった。

こんなご意見・ご感想をいただきました！（一部掲載）

もう少し時間を調整してほしい。

議員はもっともっと勉強してほしい。

これまでの学生の提案によって実現した政策等があれば、その都度公表してはどうか？

学生の提案に答える形ではなく、参考にして議会として取り組み検討するものだと思うがどうだろうか？

私どもが思っていない角度からの提案が欲しい。

学生の若々しい意見（提案）に敬意を表する。我々も前向きに対処していくことが肝要だ。

彼らが提案した課題解決策を、社会に出た時に、自ら実践する社会人に成長してくれることを期待したい。

視点の異なる面からの提案、意見は参考になる！



まちづくりを学ぶ！ —山梨学院大学との勉強会—

文化を通じたまちづくり



なが い かつ お
永井健夫 教授
10月21日

スポーツを通じたまちづくり



いり え くに ひろ
入江熙省 教授
11月11日

先進地で大いに学ぶ！

～常任委員会ごとに県外研修へ行ってきました～

総務常任委員会

10月16日～17日

研修先

東京都：国会傍聴・靖国神社・イオンモール日の出（地域貢献）

産業土木常任委員会

10月23日～24日

研修先

長野県：国営アルプスあづみの公園・黒部ダム・松本市役所(まちづくり)

教育厚生常任委員会

11月12日

研修先

長野県：上田市浦里小学校・佐久市議会(ぴんころ運動推進事業)

ようこそ！昭和町議会へ

議会だより

まちづくり

大学との提携

教うるは学ぶの半ば

全国各地から
視察受入

11/12

北海道南幌町議会
山梨学院大学との連携

11/1

栃木県高根沢町議会
まちづくり推進

11/13

長野県小諸市議会
議会だより

11/14

静岡県森町議会
人口増加の取り組み

11/5

愛知県大口町議会
議会だより

10/31

三重県東員町議会
議会だより

各議会の皆様、ありがとうございました

追跡

あの一般質問は どうなった？

議員の質問に、当局がその後どのように対応し、どうなっているのかを追跡・検証してみました。



徴収専門組織の新設を

(平成20年9月議会 質問者：樋口敏夫議員)

問 不納欠損が出ている。町の将来のためには徴収体制を強化することが必要だと思うが。

答 職員の専門性、事務量の増大も検討し、収納課等の設置を考えていく。

その後

平成26年度より収納課（仮称）を設置する。



税務課窓口



高齢者福祉と管理栄養士の関わりは

(平成25年12月議会 質問者：深澤克男議員)

問 平成25年度より昭和町食育推進計画が推進されるが管理栄養士が担う業務量は格段に増加する。福祉施策等との関わり方や配置等をどのように考えるか。

答 有効的な活用を図るため、職務内容の検討や配置に向け、環境整備と有能な人材確保に努めたい。

その後

平成26年度より管理栄養士の採用枠を設ける。



栄養講座

議会クイズ

正解者の中から抽選で5名の方に
図書カードをお送りいたします。

ヒント 議会だより160号(この号)を読んでください

空欄に当てはまる言葉を入れてください。

- 1 議会だよりは創刊○○周年。
- 2 一般会計補正増額○○○○万円。
- 3 11月24日開催！○○参加型政策提案学習会。

159号クイズの答え

かすみ

75

西条

前回の
お葉書で

こんなご意見を
いただきました！

「議会だより」毎号楽しみにページ
を開きます。

地域の情報や興味深い
内容も、くわしく手にもとる様にわかり易
く、議会活動や町政についての取り
組みや、わかり、行政のむすかは、
真剣さが伝わり、ますます町を躍

<感想>

表紙がよかったです。指揮する子供
を鮮明にとらえて、とてもよい印象を
持ちました。中味も、特に2、3ページ
が字が大きく、空きスペースがかなり
あり、楽に読めてよかったです。

にびにび「図書券」を頂いて、感謝して
おります。有難うございました。今回の
「議会だより」が一番気に入りました。は、
昭和町の「認知症」の方の多いのびろろ……!!
近い将来私もかしらう？他人のことはありま
せん……ネ!!
あーこ

この他にも回答をいただきました！
ありがとうございました。

《応募方法》

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」を記入
してください。FAXやメールも受け付けます。
議会への要望・意見等もありましたら、お受けします。

《あて先》

- 〒409-3880 昭和町押越542-2
昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛
- FAX : 055-275-5250
- メール : gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp

《しめきり》

2月末日 消印有効



青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む
皆様にご意見・ご感想を伺いました。

自然が残っています



押越区

石原

恵子さん

甲府市から昭和町に移り住み、3年が経とうとしています。引っ越してきた時は、子育て中心の生活で家にいる時間が長く、今と比べて1日がのんびりと過ぎていたように思います。子どもの成長とともに活動の場も広がり、公園に身体を動かすに行ったり、図書館に行ったり、身近な場所にさまざまな施設があるという充実した環境は、とてもありがたく感じます。

昭和町のふるさとふれあい祭りでは、毎年たくさん催し物が開かれ、地域で行われる「八幡初穂祭り」「押越区運動会」などの行事も、同じ地域に住む方とのふれあいの場となり、住み始めて間もない私たちの家族にとっては、とても楽しい時間になっています。

家の近くには田んぼや畑があり、自然が残っています。昭和町の歴史をみると最初は農業地域で、さらに新興工業地域として大きく発展し、時代とともに町も変化しています。これからの私たちの生活が、住みやすい街であることを願うと共に、地域の方とコミュニケーションを大切にしながら、楽しく生活していくことを心がけたいと思っています。

子育てのしやすい町



築地新居区

川名

学さん

昭和町に住んで15年になります。長男が生まれ、共働きだったうちにとって、保育園の存在は大きなものでした。

そんな時、友人から昭和町は保育時間も長く、未満児から保育してくれる、保育料も安いと聞き、昭和町への移転を決意しました。子どもを保育園へ預けてからは、朝早くから夕方遅くまで保育していただき、安心して働くことができました。

小学校へ上がってから、きれいで最新の設備の整った学校に、楽しく通っていました。また、スポーツ少年団にも入団しました。昭和町には数種類の少年団があつて、どの団も一生懸命活動しており、町からの補助金が出ていたり、会場への移動に町のバスが使用できたりと、町をあげて育成しているという気持ちを感じられます。

子どもたちも大きくなって、子育てという感覚ではなくなってきましたが、町の助成や地区の人々に助けられて、ここまで育ててこられました。

少子高齢化といわれる昨今ですが、住みよい環境と自然が残る、ますます子育てのしやすい町であってほしいと願っています。

40周年を迎えて

現在発行責任者 萩原

馨

「議会広報誌」発刊以来40周年、また160号と記念すべき節目の年にあたり、こうして皆様方のご協力のもと特集を組めたことに心からお礼申し上げます。

議会広報誌は議会の歴史はもちろんですが、町の歴史文化を語る意味においても貴重な資料となります。

昭和49年5月の第1号発刊以来、その時々紆余曲折はありましても全国優勝できるレベルとなり本町発展にも寄与できたものと誇りに思うところであります。

40周年を契機に「町民と共に歩む議会」町民に親しく読んでもらえる議会だよりとなることを祈念し挨拶いたします。

●広報編集特別委員会

委員長 石原 高明
副委員長 林 和仁
委員 河田あけみ 三井 猛
河住 保茂 深澤 克男

議会を傍聴しませんか

次回定例会は

3月4日(火)開催予定です

議会事務局 ☎275-8842

《今澤・小林》